

---

## 巻 頭 言

---

### 症例報告のすすめ

院長 百井 亨

医学中央雑誌(医中誌)には日本国内で定期刊行されている医学関連(医学・歯学・薬学・看護学・獣医学およびその関連領域)の学協会誌・研究会誌, 業界誌, 商業誌, 大学・研究所・病院・学術団体などの紀要, 研究報告(対象分野で入手できる定期刊行物はすべて)が収載されている。2000年4月からオンラインサービス(医中誌 Web)が開始され, 1983年から蓄積された論文約800万件の書誌情報と要旨(全体の20%~30%, 原著論文については90%以上に付与)が収載されている。一般の検索は有料であるが, 当センターは施設として契約しているので, 院内LANの閲覧が出来る端末から日赤医学図書館経由で医中誌 Web の検索が可能である。ちなみに和歌山赤十字病院医学雑誌(和赤医誌)は収載コード J 01709 で登録されており, 1996年に日赤和歌山医療センター医学雑誌(和医医誌)と誌名が変更されてからは J 02999 として現在まで収載されている。

海外の論文に関しては米国立医学図書館のデータベース Medline に New England Journal of Medicine, The Lancet, Annals of Internal Medicine, British Medical Journal, Journal of the American Medical Association の五大医学雑誌をはじめとして約4800誌が収載されており, PubMed を通じて1950年代からの論文1600万件が無料で検索できる。Medline 収載の雑誌は主として英文誌であるが, その収載論文数を医中誌のそれと比較すれば判るように収載のためのハードルは高く, 論文の質も高いものが多い。

ここから, 本稿の主題である症例報告について。

医学雑誌に掲載される論文は, 医中誌では「原著論文」「会議録」「座談会」「図説」「講義」「解説」「総説」「一般」「Q & A」「レター」「症例検討会」に分類されており, 症例報告は原著論文に含まれている。星の数ほどもある医学雑誌の中で, 我が「日本赤十字社和歌山医療センター医学雑誌」に投稿する人は本センターの職員以外にはほとんどいないであろう。しかし, その内容は医中誌を通して全国(世界中)の人々の検索の対象になっており, 優れた論文であれば必ず関心を持って読む人が出てくる。もちろん渾身の作であれば英文にして世界の一流誌への投稿を目指せばよいが, 多忙な日常に出くわす多数の貴重な臨床例をいちいち英文誌に投稿することは容易いことではない。皆さんは常日頃, 臨床の現場での貴重な経験を各種の学会や研究会で発表しているのだから, それらを簡潔にまとめて症例報告として当医学雑誌に投稿すべきである。その中から全国誌, さらに英文誌に投稿する論文も生まれてくるに違いない。

若い諸君には「貴重な臨床例を見出し, それを整理する, まとめる, そして活字にする」という習慣を是非身につけてほしい。多忙だからこそ多くの貴重な臨床例を経験するのであって, それらをまとめる作業を通じて文献検索の実際や文献の読み方が身に付き, 経験とともに知識が集積されていく。それは診療の質の向上に寄与し, さらに自らが探求してゆくテーマやアイデアが生まれてくると思う。投稿費もいらない本誌を利用しない手はないが, だからと言っていい加減な内容の論文では自身のみならず指導する上級者の信頼性をも損なうことを忘れてはならない。

